

「長良川流域生産者消費者協働組合」 設立へ向けた調査・実験と合意形成事業

特定非営利活動法人
ぎふNPOセンター

地域概要

【郡上市和良町】

- ・旧郡上郡和良村より平成の大合併で郡上市和良町に。(以下合併前2000年の国調査より)
- ・総人口2266名 ・集落数15(内限界集落1(人口65名)、準限界集落3(人口160名、130名、166名))
- ・高齢者比率35.3%(15集落中4集落は40%~45%、また4集落が45%以上)
- ・農業法人1、認定農業者5、その他専業経営(和牛飼育など)4、その他自動車部品工場など
- ・村内就業者788名 村外就業者332名

21年度事業

- ▶ **活動1:「郡上市・和良町の農家現況調査と地域住民・団体との合意形成」**
 - ▶ 地域団体、農業生産法人への聞き取り、農家への聞き取り調査を実施。ヒアリング調査にまわることで、
 - ▶ 今後の本事業への協力体制を構築し、またその中心を担う和良道の駅ちんちろ屋との今後の体制づくりを
 - ▶ 検討する。

- ▶ **活動2:「郡上の野菜の朝市・引き売り販売実証実験」**
 - ▶ 8回の販売実験と仕入れを実施。また販売ツールとして、和良地域の生産者がみえる生産者マップ・ウェブを作製。また消費者のニーズ把握として、購入者へのアンケートを実施し、その結果をもとに今後の販売体制、戦略づくりを検討。

日本一の長寿村「都上和良町」

和良の味

和良には、おいしいものがたくさん詰まっています



米の味は「水」の味
水の味は「山」の味



もちもち

おこし米

水がおいしいから

和良

日本の魚

わたの味は「わた」の味
こけの味は「こけ」の味
水の味は「水」の味
山の味は「山」の味



和良名産物のアボカド、おぼろ汁

優しいお水



「黒胡麻 やわらかおこし」
1冊 500円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「長寿豆」
1冊 300円 1冊 500円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「長寿あめ」
1冊 300円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「胡麻はちみつ」
1冊 500円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「落みそ」
1冊 500円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「もろみ味噌」
1冊 600円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「おこし」
1冊 600円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「しょうがっこ」
1冊 600円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「ゆずこしょう」
1冊 600円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「長寿だんご」
1本 70円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。



「うまい」
1冊 600円
主原料は自家産。もちもちして、おれおれの中身がたっぷり！
湯の朝飯屋では、人気商品の一つです。

うまい 和良のモノ

2009年度課題

- ▶ 生産者、地域団体等へのヒアリングの結果、同様の問題意識を持ちながらも、地域団体間の交流の場、話し合いの場がない。



「和良おこしのたね」と題し、地域の有志による話し合いを実施。

和良の未来、改めて話そう
【和良おこしのたね】

開催日：2010年3月26日（金）
19:25～（お申し込みあり）
会場：山崎産経館 1階 広間
参加費：無料

和良町の各地で面白いことを考えたり、働いている人がたくさんいます。そして、和良から和良に魅力を届けてやってくる人も増えてきました。よその方も盛りつつら、和良の未来をつくっていくために、ここで一度、改めてお話しませんか？

内容：
・「和良おこしのたね」を書き出して、話し合ってみよう
・和良NPOセンターの取り組み紹介（和良町の生産者の販売支援）
など

呼びかけ人：
池田明彦（和良おこしづくり部）
大野直隆（株式会社 和良産）

主催：和良おこしづくり部
協力：NPO法人 和良NPOセンター
独立大学法人、和良大学、和良短期大学
文庫：和良の未来、新たな和良コミュニティ創成研究会
イラスト：m8（和良産経館、和良ファンのイラストレーターです。）

和良おこしのたね

【参加者】

- ・ちんちろ屋関係者
- ・夢づくり塾関係者
- ・地域のNPO法人関係者
- ・漁業協働組合 関係者
- ・若手農業従事者
- ・和良地域振興局関係者



和良おこしのたね

【意見】

- ・従来の地縁組織の寄り合いは家長が参加するものなので、自分たちの地域について話し合うのははじめての体験。
- ・(それぞれ)活動しているのも、名前も聞いたことはあったが、会うのははじめて。

➡ 和良内で活動している多様な人が交流する場を作りたい

- ・地域の仕事おこし、漁協の活動、里山における耕作放棄地の課題、それぞれで活動しているが、米と鮎がおいしいのは水が良いから。和良川の水の良さを中心に地域づくりを考えてはどうか？

➡ 和良川の水の良さを中心に伝えるブランドづくりを進める

定期的に有志で話し合う「和良おこし会議」を設立

2010年度

▶ 「わらおこし会議」の基盤を整備することを目標に、下記4点について取り組んだ。

1、月に1度の定例会議の開催

▶ 和良地域振興局の会議室にて、地域の商工会関係者、漁業組合関係者、NPO法人、地域産業団体などが参加。

2、22年度以降、地域を巻き込むための具体的な事業計画づくり

3、耕作放棄地を活用した「田んぼオーナー制度」仕組みづくりと募集の開始

4、地域内での周知・広報活動

和良おこし会議

▶ 2010年度前半

- ▶ ・和良おこし会議の方向性の確認
- ▶ ・地域内の取組み紹介
- ▶ ゲスト:観光協会、漁業協同組合、ちんちろ屋など
- ▶ それぞれの団体の活動内容・現状・困っていることなどをゲストを招いて伺った。
- ▶ 地域内の活動団体の顔をつないでいく場づくり
- ▶ 興味をもっている人ならだれでも参加できる開かれた場にする
- ▶ 「わらに嫁にきて25年、はじめて和良の将来について語った。」

2010年度後半

二つの事業の計画を策定



和良おこし会議

- ▶ 「日本一の鮎」を育む和良川の環境調査
専門家と地域の子どもたちによる川づくり



和良おこし会議

▶ 田んぼオーナー制度



課題

地域のなかでは生まれたばかりの団体であり、多様な若手があつまりはじめているが、地域から浮かず、スムーズに地域の中での認知と協力が得られるようにするため、従来からの地縁組織や地域振興局とも相談をしながら、22年は新しい地域の主体のひとつとしての「わらおこし会議」の方向性を慎重に固める年となった。

- ▶ 具体的なイベント等の事業を実施したわけではないので、今後は具体事例、様々な参加チャンネルを準備し、また従来からの組織と連携しながら、地域への想いを語り、実現できる開かれた場となるための地域における周知が課題である。

今後

- ▶ 「日本一の鮎を育む和良側の環境調査～専門家と子どもたちによる川づくり」「田んぼオーナー制度」と2つの事業を実施しながら、地域内の繋がり・都市との繋がりづくり、地域内での巻き込みに取り組む。

御清聴ありがとうございました。